

「いかだ遊び」をより子どもたちの達成感や充実感、成長につなげるために

宮城県松島自然の家

① 「プログラム No. 10 いかだ遊び」のねらい（2025 ガイドブックより）

「いかだ作りの共同作業を通して、創造的な思考とトライ&エラーを学ぶ」

基本的にはこのねらいに迫るため、団体と自然の家スタッフが連携して、準備・実践に当たりたいと考えます。以下、そのための確認事項になります。

※別ねらいの設定がある場合は、自然の家スタッフにお知らせください。



② 安全面について、必ず事前指導をお願いします。以下、安全面に関する約束事項です。また、どの活動においても避難を要する緊急時は、自然の家スタッフから指示を出します。（高台、避難場所への避難等）

○活動全般について

グループで固まって活動します。特に、海に入る時も全員がいかだから離れないことを守ってください。

※引率者は、海から上がったらず必ず人数確認と担当所員への報告をお願いします。

○服装について

- ・水着の上に長袖・長ズボン（学校の運動着等）を着用します。カツオノエボシ等への安全対策です。
- ・くつは、ぬれてもよい靴やウォーターシューズを履いてください（必ずぬれます）。サンダルは脱げて、貝で足を切る可能性があるため不可としています。
- ・活動中は、マスクは外します。着用したまま海水でぬれると、息ができなくなり大変危険です。
- ・メガネが必要な方は、メガネひもを準備する等、メガネを海に落とさない工夫が必要です。

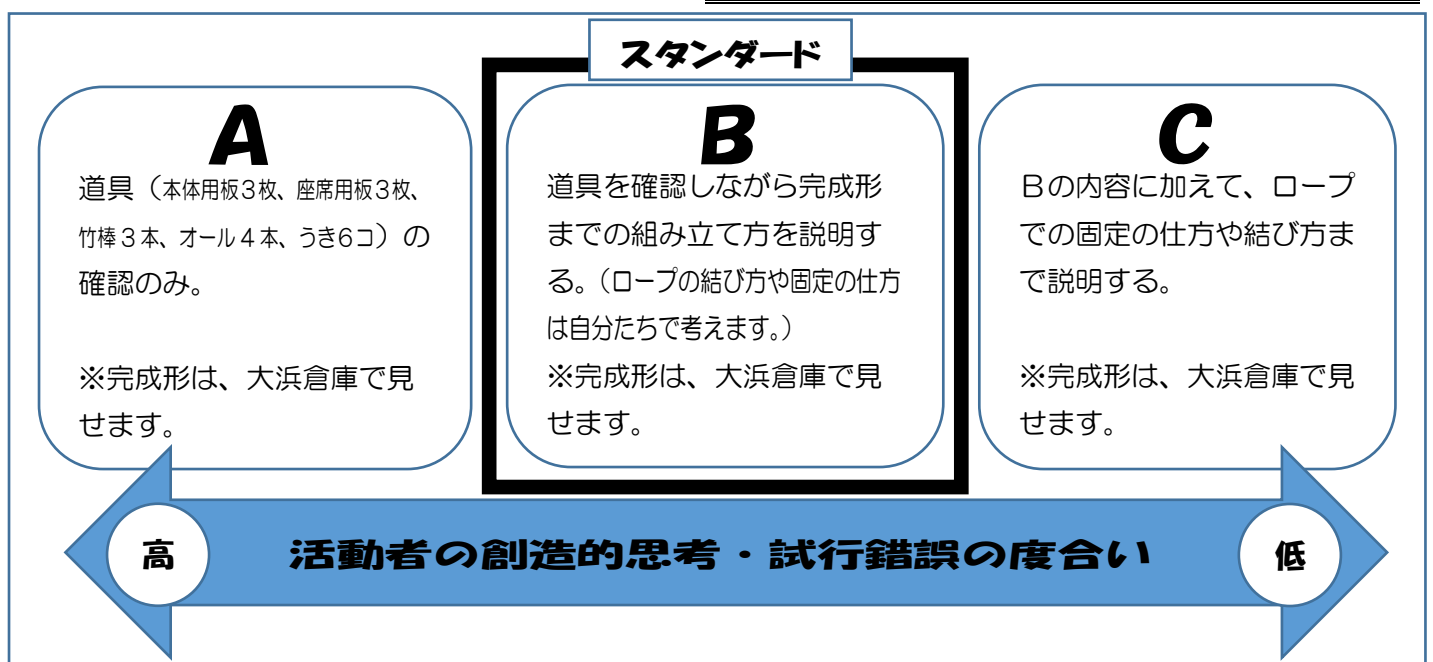
○波打ち際の行動について

波打ち際が最もけがをする可能性が高くなります。いかだが波に押されますので、海に入る時も海から上がる時も竹から手を離さず、必ず全員で波よりも高いいかだを持ち上げて運んでください。

③ いかだ作りの説明について（自然の家スタッフが行います）

Bが、松島自然の家の支援の在り方としてスタンダードです。A、Cをご希望の場合は、自然の家スタッフまでお知らせください。

※お知らせいただくのは当日で構いませんが、事前に、団体のスタッフさんで共通理解をお願いします。



④ 当日について

当日は安全面の管理を徹底した上で、宮戸島の自然の中で皆様に楽しんでいただきたいと思います。非日常で子どもたちの新たな一面が発見できる活動になるよう、スタッフ一同、精一杯支援に当たらせていただきます。